

2019年1月24日

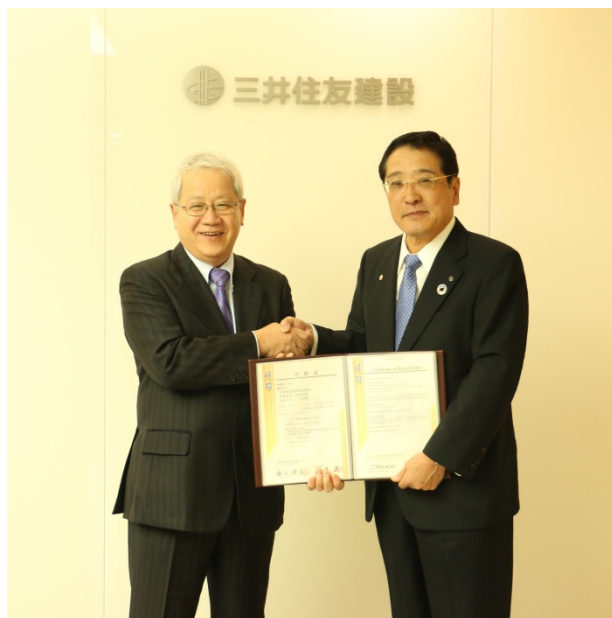
国際規格 ISO 55001（アセットマネジメントシステム）の認証を取得

ー ゼネコン初認証となる橋梁マネジメント技術でサステイナブルなインフラづくりに貢献 ー

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、2019年1月21日にゼネコン（総合建設業）として初めてアセットマネジメントシステム（AMS）の国際規格 ISO 55001 の認証を取得し、1月23日に授与式が行われました。

ISO 55001 は、組織がもつアセット（※）を、コストとリスクとパフォーマンスの3つのバランスを考慮し、そのライフサイクル期間で最大の資産価値を生み出すことを目的として制定されたアセットマネジメントの国際規格です。

（※）組織にとって潜在的にあるいは実際に価値を有するもの（価値は有形／無形のもの、金銭的／非金銭的なものがある。）



【登録証授与式の様子】

（左）福水 健文 一般財団法人建材試験センター 理事長
（右）新井 英雄 当社 代表取締役社長



【ISO 55001 認証ロゴマーク】

■登録内容

- ・登録番号：RA0005
- ・組織の名称：三井住友建設株式会社 土木本部／技術本部 土木リニューアル部門
- ・適用規格：ISO 55001:2014（JIS Q 55001:2017）
- ・管理するアセット及び活動
 - ：橋梁における点検、診断、処置（補修・補強）提案、長期メンテナンス計画及びそれらに関する技術開発
- ・登録日：2019年1月21日
- ・有効期限：2022年1月20日
- ・認証登録機関：一般財団法人建材試験センター（JTCCM）

当社は、1959年にわが国初の片持ち張出架設工法で施工された嵐山橋（神奈川県）をはじめ、4,500橋を超えるプレストレストコンクリート橋梁を建設してきました。1960年代から管理者と協力しながら、自社施工橋梁に対する自主的な点検・診断を実施し、必要に応じ対策工の提案も行ってきました。

そしてこのたび、当社の橋梁における点検、診断、処理（補修・補強）提案、長期メンテナンス計画や、それらに関する技術開発などが評価されました。

今後は、橋梁分野におけるマネジメント技術の蓄積・活用に努めるとともに、さらに他の分野に関する認証の拡大も図り、持続可能で強靱な国土と質の高い社会インフラづくりに貢献してまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

Email:information@smcon.co.jp

以 上